

A. 番号管理（住登者登録）

A-1	転入・出生等により、住記システムで把握された制度個人番号を、住記情報とあわせて共通基盤システムに連携。
A-2	共通基盤システムの参照用住記DBに登録した後、制度個人番号と住記情報（主に基本4情報）を統合宛名システムに連携。
A-3	統合宛名テーブルに、制度個人番号と住記情報を登録し、同時に統合宛名番号を付番した後、共通基盤システムへ統合宛名番号を連携。
A-4	統合宛名番号を参照用住記DBに登録した後、業務システムへ住記異動情報として、制度個人番号と統合宛名番号を連携。

B. 住登外登録

B-1	業務システムで発生した住登外者について、業務宛名番号と制度個人番号（基本4情報も含め、以下「住登外者情報」と称する。）を共通基盤に連携。
B-2	共通基盤システムで文字コード変換を行った後、統合宛名システムへ住登外者情報を連携。
B-3	統合宛名テーブルに住登外者情報を登録し、同時に統合宛名番号を付番した後、共通基盤システムへ統合宛名番号を連携。
B-4	共通基盤システムで文字コード変換を行った後、業務システムへ統合宛名番号を連携。

C. 情報提供（個人情報の登録）

C-1	業務システムから共通基盤システムへ、各業務の個人情報を連携。
C-2	共通基盤システムで文字コード変換を行った後、統合宛名システムへ個人情報を連携。
C-3	統合宛名システムで文字コード変換（外字縮退変換）と、中間サーバー連携用のXML形式に変換処理を行った後、神戸市中間サーバーへ個人情報を連携。
C-4	中間サーバーに個人情報を登録。 他団体からの情報照会に回答可能な状態となる。

D. 情報照会（他団体への情報提供依頼）

D-1	業務システムから共通基盤システムへ、情報提供依頼電文を連携。
D-2	共通基盤システムで文字コード変換を行った後、統合宛名システムへ情報提供依頼電文を連携。
D-3	受領した情報提供依頼電文について、統合宛名システムで文字コード変換（外字縮退変換）と、中間サーバー連携用のXML形式に変換処理を行った後、神戸市中間サーバーへ情報提供依頼電文を連携。 神戸市中間サーバーで統合宛名番号を符号に変換し、情報提供ネットワークへ情報提供依頼処理を行う。
D-4	他団体中間サーバーから受領した照会結果情報電文について、神戸市中間サーバーで符号を統合宛名番号に変換した後、統合宛名システムへ連携。
D-5	受領した照会結果情報について、統合宛名システムで神戸市連携用のCSV形式に変換処理を行った後、共通基盤システムに連携。
D-6	共通基盤システムで文字コード変換を行った後、業務システムへ照会結果情報を連携。
D-7	業務システムで照会結果情報を受領。

E. 情報照会（他団体からの情報提供依頼）

E-1	他団体中間サーバーから情報提供ネットワークシステムを経由し、神戸市中間サーバーに情報提供依頼電文を連携。
E-2	神戸市中間サーバーから情報提供ネットワークシステムを経由し、他団体中間サーバーに照会結果情報を連携。

F. 符号管理

F-1	統合宛名番号を新規付番した場合、中間サーバーへ統合宛名番号を連携し、符号取得要求処理を行う。また、中間サーバーでの符号取得状態の管理を行う。
-----	--